

インナーゼミナール大会グランプリ 採点者用 採点基準表

「研究計画書」について	4点	3点	2点	1点
1. 研究テーマが明確に示されているか？	研究テーマに関する記述が十分であり、明確である。	研究テーマに関する記述について、やや不明確な点がある。	研究テーマに関する記述が不十分であり、不明確である。	研究テーマに関する記述がなされていない。
2. 研究の背景と目的が明確に示されているか？	研究の背景と目的に関して十分な理解が促される記述がある。	研究の背景と目的に関する理解は促されるものの、不明な点がある。	研究の背景と目的に関する理解を促すには、改善すべき点が多い。	研究の背景と目的に関する理解が促されない。
3. 研究の対象と方法が明確に示されているか？	研究の対象と方法に関して十分な理解が促される記述がある。	研究の対象と方法に関する理解は促されるものの、不明な点がある。	研究の対象と方法に関する理解を促すには、改善すべき点が多い。	研究の対象と方法に関する理解が促されない。
4. 研究の独創性が明確に示されているか？	先行研究への言及があり、独創性が十分に理解できる記述がある。	先行研究への言及はあるものの、独創性にやや欠ける部分がある。	先行研究への言及はあるものの、独創性の有無が判断し難い。	先行研究への言及がない、かつ／あるいは、独創性が認められない。
5. 研究の社会的意義が明確に述べられているか？	研究の社会的意義についての理解が十分に促される記述がある。	研究の社会的意義は認められるが、やや説得力を欠く部分がある。	研究の社会的意義を認めるには、記述に不明確な部分が目立つ。	研究に社会的意義があることを認められない。

発表方法について	4点	3点	2点	1点
1. 話し方が明確・正確・的確であり、また、聞き取りやすかったか？	明確・正確・的確であり、また、聞き取りやすかった。	明確・正確・的確であったが、聞き取りにくい部分があった。	明確・正確・的確ではない部分と聞き取りにくい部分があった。	明確・正確・的確ではなく、聞き取りにくかった。
2. 図表が、発表内容の理解を促すように効果的に用いられていたか？	発表内容の理解を聞き手に促すのに有益な図表が効果的に用いられていた。	発表内容に関連した図表が用いられていたが、効果的でない部分があった。	図表が用いられていたが、発表内容との関連性がわかりにくく、効果的でない部分が目立った。	図表が用いられていなかった、あるいは図表が過度に用いられており、理解が促されなかった。
3. フォントや配色など、見せ方に配慮と工夫がなされていたか？	いずれについても工夫がなされ、十分な説得力があった。	一部だが、改善の余地があると判断される箇所があった。	改善の余地があると判断される箇所が目立った。	説得力を増すための工夫がなされているとは判断されなかった。
4. 発表するメンバー間での協力・連携が十分になされていたか？	メンバー間での協力・連携ができ、各人が等しく活躍した。	メンバー間での協力・連携に欠けている部分が見られた。	メンバー間での協力・連携に欠ける部分が目立った。	メンバー間での協力・連携がまったくできていなかった。
5. 時間配分が適切になされていたか？	全体を通して、発表内容に応じた適切な時間配分がなされていた。	一部だが、改善の余地があると判断される箇所があった。	時間配分が不適切でないと判断される箇所が目立った。	時間を超過した、または、時間よりも10分間以上早く終了した。

発表内容について	6点	5点	4点	3点	2点	1点
1. 問題が明確に示され、専門的な調査・分析がなされていたか？	問題(リサーチ・クエスチョン)が明確であり、深い理解にもとづいた調査・分析がなされていた。	問題(リサーチ・クエスチョン)は明確であるが、調査・分析に不十分である点がわずかにあった。	問題(リサーチ・クエスチョン)は明確であるが、調査・分析がやや一面的な部分があった。	問題(リサーチ・クエスチョン)の理解が不十分であり、調査・分析に不十分である部分が目立った。	問題(リサーチ・クエスチョン)の理解が不十分であり、調査・分析も不十分であると判断された。	問題(リサーチ・クエスチョン)が不明確であり、調査・分析も不十分であると判断された。
2. 主張とその根拠の間に論理的な整合性があったか？	主要な結論とその根拠とが論理的に整合的であることが明確かつ説得的に示されていた。	主要な結論とその根拠とが論理的に整合的であると判断されたが、わずかに疑問も残された。	主要な結論とその根拠とが論理的に整合的であると判断されたが、残された疑問が複数あった。	主要な結論とその根拠とが論理的に整合的であるとは判断されたが、論拠がやや不十分であった。	主要な結論とその根拠との論理的に整合性について判断をするのに十分な論拠が提供されなかった。	主要な結論とその根拠とは論理的に整合的であるような関係にはないと判断された。
3. 全体の構成が論理的であり、内容にまとまりと一貫性があったか？	全体の構成が論理的であり、聞き手の理解を促すような順序で議論が展開された。	全体の構成は論理的であったが、議論の順序に聞き手の理解を促さない部分が見られた。	全体の構成は論理的であったが、議論の順序に改善の余地があり、理解できないことが複数あった。	全体の構成に論理的ではない部分があり、全体のまとまりと一貫性をやや欠いていた。	全体の構成が論理的ではなく、全体のまとまりと一貫性に欠ける部分が目立った。	全体の構成が論理的ではなく、その結果として、全体のまとまりと一貫性を欠いていた。
4. 内容が独創性であり、印象に残るものであったか？	先行研究を十分にふまえており、かつ、内容も独創的で印象に残るものであった。	独創的で印象に残る内容であったが、先行研究との違いについて不明な点がわずかにあった。	独創的で印象に残る内容であったが、先行研究への言及がやや不十分であった。	独創的であるという印象は与えられなかったが、先行研究についての言及が不足していた。	独創的であるかを判断するに足るだけの先行研究についての言及がなかった。	先行研究についての言及がなく、独創的であると判断されなかったし、印象にも残らなかった。
5. 質疑応答では、適切な対応がなされていたか？	質問が的確に理解され、分かりやすく、説得力のある回答が丁寧に誠実な態度でなされた。	質問が的確に理解され、丁寧に誠実な態度で回答がなされたが、やや説得力を欠く部分があった。	質問が的確に理解され、丁寧に誠実な態度で回答がなされたが、やや分かりにくい部分があった。	丁寧に誠実な態度で回答がなされたが、説得力に欠ける部分と分かりにくい部分との双方があった。	丁寧に誠実さをやや欠いた態度で回答がなされ、説得力と分かりやすさのいずれも欠いていた。	丁寧に誠実さを欠いた態度で回答がなされ、説得力と分かりやすさのいずれも欠いていた。